

探訪 チャレンジ企業 81

和紙織物が大手紳士服専門店の新作に採用 オリケン株式会社：羽咋市

今回のチャレンジ企業では、まさに「チャレンジ」という言葉がピッタリな企業「オリケン株式会社」（羽咋市）をご紹介します。

一 和紙織物の可能性を信じ創業

当社は、構造不況で繊維会社の廃業が相次ぐ中、川中から川下まで長年、繊維業界に従事していた亀井社長と技術屋であった岡田取締役の二人が平成十八年に設立しました。



Nekiro

古来より障子や襖など日本家屋に用いられ、風土や気候にもよく合う和紙に興味を持っていた亀井社長は「和紙」独特の良さを活かした和紙織物の開発に取り組みことになりました。

和紙織物は従来から商品化されており、和紙ならではの独特な風合いなどが好まれています。しかしながら「ごわつき」や「洗濯に弱い」などの問題点もありました。当社は、その問題点を擦糸にあると考え、撚りをかけずに織ることに挑戦しました。試行錯誤の結果、フラットなテープ状のまま織ることに成功し「ごわつきがなく、洗濯にも強い」和紙織物「Nekiro（ネキロー）」が完成しました。

二 販路開拓に県の施策を積極活用

和紙織物「ネキロー」は完成したものの、特に販路を持たずに創業したため、ネキローをショールやストールなどの商品にし、輪島朝市や和倉温泉などのお土産物売場などに置いてもらうところから始めました。



亀井社長(左)と岡田取締役

県内外のお客様が多い場所で販売を始めたため、少しでも信用を得るために、「石川ブランド優秀新製品」や「石川県優良観光土産品」等に申請しました。その効果もあり最高で月千枚、現在でも観光シーズンは月平均八百枚も売られています。

「販路を県外にも広げなければ」と思っていた時、商工会から「いしかわ産業化資源活用推進ファンド（活性化フ

ファンド）を勧められ申請にチャレンジしました。見事採択され、お客様に合わせた試作品開発や繊維メーカー主催のイベント・フェアに数多く出展する機会を得ました。

三 大手紳士服専門店の新作に採用

積極的な販路開拓の効果もあり、「ネキロー」が、昨年四月に大阪市で開催された大手繊維メーカー主催のイベントで東京、大阪を中心にオーダーメイド紳士服専門店を展開するエフワン（本社・大阪）の担当者の目に留まり、共同開発が始まりました。ジャケット用に試作を重ね、今年二月に、夏涼しくて冬暖かいという和紙織物の特徴を活かしたジャケットとして全国百店舗以上のエフワン店舗で販売が開始されました。



和紙ジャケット

四 五年で三万キロ

亀井社長は、「エフワンに採用が決まりましたがここまで順風満帆に来たわけではありません。試行錯誤の繰り返しです。でも一所懸命やって助けを求めると、不思議と誰かが助けてくれるんです」と話します。その熱意は、サンプル生地を持つて自動車で駆け巡った設立以来五年間の走行距離三万kmに表れています。

（お問い合わせ先）

オリケン株式会社

〒九二五-〇六二三

羽咋市本江町へ五五番地

TEL

〇七六七-二六-〇〇二二

（取材・執筆）

石川県商工会連合会能登支

所専門経営指導員

澤井 健一

澤井指導員の行ったオリケン株式会社様への支援は、平成二十三年度の石川県商工会優秀支援事例の優秀賞を受賞しました。

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。